

Think globally, Act locally

“民族フォーラムはグローバルな活動を積極的に展開しています”

民族フォーラムと一緒に活動してみませんか。地球市民的な国際感覚をお持ちの方を歓迎します。海外ではベトナム、ミャンマー、バングラデシュ等の途上国の弱者支援、国内では各種国際イベントへの出展や多文化共生をめざした「世界の家庭料理教室」、「ヨーガ療法教室」、等を行っています。



特定非営利活動法人 民族フォーラム

理事長 山本孟人

住所: 埼玉県川口市東領家1丁目9-12

HP: <http://ngo-minzokuforum.org/>

E-mail: nationforum@fan.hi-ho.ne.jp

Tel: 048-224-8614

互恵団体

- ・NGO 多文化共生協働センター川口
- ・マンション GPS
- ・JIN 愛育センター
- ・インターナショナル川口

■ **みんなが**
■ **結ばれて**
■ **突りある世界へ**

ベトナムの視覚障がい者支援

ベトナム全土の障がい者数は人口の7.8%（約670万人）、その中で視覚障がい者数は全盲60万人、弱視者を含めると100万人と推定されていて、視覚障がい者・視覚障がい児に対する社会環境や教育環境が著しく立ち遅れています。NPO法人民族フォーラムは、JICA、外務省、郵政省、埼玉県、独立行政法人・福祉医療機構、等の公的な資金協力、及び社会福祉法人／国際視覚障害者援護協会、在ベトナムの日本企業、ベトナム・ハノイ日本婦人会等の協力を得て、ベトナム盲人協会を主たるカウンターパートに、2003年より点字プリンター及びパソコンの供与、IT研修、マッサージ職業訓練、チャリティコンサート、点字算数教科書の作成、教員養成研修、マラソン伴走者研修、留学生支援、手工芸品の製作等を通じて、ベトナムの視覚障がい者の自立支援、就労支援、就学支援、社会生活への参加促進、等の多方面にわたる支援活動を行っています。



ミャンマーへの緊急自動車の供与

ミャンマー国民の日常生活の安定と財産の保護を目的として、外務省、埼玉県及び県内医療機関から中古資機材の提供支援を頂き、2005年に消防車1台、2006年に消防車1台と救急車1台をヤンゴン消防本部に無償供与、2007年にヤンゴン市内のジビタダナ・サンガ病院（僧侶と貧困層向けの無料の私立医療病院）に胸部検診車1台と胃部検診車1台を無償供与しました。さらに2009年、当時の在日ミャンマー全権大使から「ミャンマー国の国民の生活安定と財産を守るために消防車、救急車の絶対数が不足しているので、1台でも多くの車両の供与を続けて欲しい」との強い要請に基づき、弊法人はミャンマー国への消防車・救急車の無償供与支援事業を継続してきました。2005年から2020年度迄の16年間での無償供与車両は累計29台（消防車18台、X線検診装置付胸部検診車1台、超音波検診装置付胃部検診車1台、高規格救急車4台、普通型救急車5台）です。

